

# 「大隅北小学校の棒踊り伝承活動の取組」

## 1 学校名

曾於市立大隅北小学校

## 2 学年・人数

3年生から5年生（計16人）※現在6年生の在籍なし

## 3 日時・場所

### (1) 練習の日時・場所

令和5年5月下旬開催の大隅北小学校・校区合同運動会前の約4週間程度  
令和5年10月中旬の蹲踞（うずくまる）神社奉納前の約2週間程度  
練習場所は、大隅北小学校及び大隅北地区公民館

### (2) 発表の日時・場所

令和5年5月22日（月）午前 大隅北小学校・校区合同運動会（本校運動場）  
令和5年10月21日（土）午前 蹲踞神社奉納（蹲踞神社）  
令和5年10月21日（土）午後 大隅北地区秋祭り（大隅北地区公民館）

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

### (1) 名称

棒踊り（ぼうおどり）

### (2) 由来

五穀豊穰への祈りや感謝が込められた踊りで、開始時期や由来は定かではない。現在、受け継がれている踊りは、上坂元集落を中心に踊られていたものが元になっており、蹲踞神社への奉納や秋祭りで披露されてきた。

### (3) 構成等

楽器による伴奏はなく、追分調の歌にあわせて、棒をカチッカチッと打合せながら「ヨイヤサー」の威勢のよい囃子とともに踊る。踊りの動きや型は、示現流の棒術を彷彿させるもので、6人1組で3尺棒と6尺棒で勇ましく打ち合う。

## 5 保存会や地域との連携の具体

明確な保存会は存在せず、地域の有志で歌と踊りを受け継いでいる。関係者の地域おこしへの思いから棒踊りを秋祭りにも披露してきたが、年々、踊り手が減少し、伝承していくことが難しくなっている。

そこで、子ども会や中学校に協力を依頼して、棒踊りをする機会を増やしてきた経緯がある。大隅北中学校が廃校になった2005(平成17)年以降は、小学校が主体となって取り組み、運動会で披露している。蹲踞神社への奉納は、子ども会が中心になって活動し、小学生に加え中学生も参加している。

歌や踊りについて記載された資料はなく、聞き伝えで伝承されていることや過疎による人口減少から後継者の育成が課題となっている。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

教育課程に棒踊りの練習や調べ学習を位置付け、郷土学習の一環として取り組んでいる。歌い手は、踊り手に合わせて速度やタイミングを微妙に調整して歌うため、録音した音源を使用して練習することが難しい。地域の歌い手に講師を依頼して学習を進めている。児童数の減少により5・6年生で取り組んでいたものを3年生～6年生を対象学年を広げた。踊り手や観客の気分を高揚させるために、衣装や襷等の装飾にも年々工夫が加えられている。

## 7 取組の様子



小学校での練習(5月)



小学校・校区合同運動会で披露(5月)



子ども会での練習(10月)



蹲踞神社へ奉納(10月)

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【児童】

最初は踊れるか不安だったけど、練習をしていくうちに覚えることができた。神社で踊るときは少し緊張したけれど上手に踊れてよかった。

### 【教職員】

棒踊りの伝承活動を通して、地域のよさや人々とのつながりを知るよい機会となっている。この踊りを後世に伝えていくために、小学校としての役割を果たしながら地域を誇れる子どもの育成に努めていきたい。

### 【保護者】

子どもたちが棒踊りを通して、ふるさとのことを大切に思ったり地域の方々と交流したりすることがうれしい。小学校や子ども会で取り組んでもらえてありがたい。